

各位

2018年11月21日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

アプリックス製 Bluetooth® Low Energy モジュールの累計出荷台数が 50 万台突破

～ 新サービスの提供開始により出荷台数が加速中 ～

IoT (Internet of Things) 製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、アプリックスで開発・製造し、国内外に販売している Bluetooth® Low Energy (※1) モジュールの累計出荷台数が、2018年11月現在において50万台を突破したことをお知らせします。

アプリックス製の Bluetooth Low Energy モジュールは、これまで空気清浄機、アロマディフューザー、ペット用品などのさまざまな顧客の製品や、手軽にビーコンを使ったサービスが開始できるロケーションビーコン「MyBeacon®シリーズ」に搭載されており、2016年7月に30万台を突破(※2)し、2017年6月には42万台を突破(※3)するなど、堅調に出荷台数を伸ばしてきました。また、水処理システムをIoT化するオールインワンパッケージ「HARPS™(ハープス)」、ビーコンが Bluetooth Low Energy 経由で発信する情報を無線 LAN 経由でアプリックスのクラウドにシームレスに集めるゲートウェイサービス「BeaBridge™ (ビーブリッジ)」、ビーコン、スマートフォンアプリおよびクラウドサービスをセットにしたスマート打刻サービス「DAKOQ™(ダコク)」といった、2018年度において提供を開始したアプリックスの主力サービスにも搭載した結果、Bluetooth Low Energy モジュールの出荷がさらに加速し、このたび累計出荷台数が50万台を突破するに至りました。

アプリックスでは、今後も「MyBeacon®シリーズ」をはじめとした IoT 製品やサービスを継続的に提供していくとともに、幅広い顧客のニーズへ対応した IoT ソリューションの開発および提供をすすめてまいります。

アプリックスの主な製品ラインナップ

<p>JM1L2S</p> 	<p>機器に搭載することで、スマートフォンとさまざまな情報を安全にやり取りできるようにするモジュールです。</p> <p>通信内容の暗号化や不正アクセス対策などのセキュリティ機能も備えています。</p> <p>製品サイト:https://business.aplix.co.jp/product/jm1l2s/</p>
<p>MyBeacon シリーズ</p> 	<p>「MyBeacon シリーズ」には汎用型のほか、防水防塵型やペンダント型などがあります。近くを通る人のスマートフォンにその場所の情報や商品の案内などをプッシュ通知する、スマートフォンを近づけるとポイントやスタンプを付与するといった用途をはじめ、位置情報を利用したゲーム、設備管理、行動解析、見守りシステムなどでも広く使われています。</p> <p>製品サイト:https://business.aplix.co.jp/product/mybeacon/</p>

<p>HARPS</p>  <p>センサーゲートウェイ IoTIZR™</p> <p>WEB アプリ</p>	<p>「HARPS(ハーパス)」とは、水処理システムを IoT 化するオールインワンパッケージです。</p> <p>流量センサーを接続して、浄水器のフィルターの使用状況や交換時期をモニタリングします。</p> <p>その他にも、簡易 TDS センサー(水に溶けている電解物質の除去率を測定するセンサー)など、各種センサーに対応したサービスを欧米を中心に順次展開しています。</p> <p>専用サイト:https://www.harps4.com/</p>
<p>DAK OQ</p>  <p>USB 2.0 ベース Beacon 光電素子 Beacon 磁界感知 Beacon</p>	<p>「DAKOQ(ダコク)」とは、Beacon のそばを通るだけで出退勤時刻を記録・管理するスマート打刻サービスです。</p> <p>電源がない建設現場やイベント会場などオフィス以外の作業場等に設置することができます。その場合も、アプリックスの MyBeacon シリーズの Beacon を使用するため、セキュアな環境を維持します。</p> <p>専用サイト:https://dakoq.hubea.com/</p>
<p>BeaBridge</p> 	<p>「BeaBridge(ビーブリッジ)」とは、Apple iBeacon 仕様に準拠した Beacon や IoT 機器が Bluetooth Low Energy 経由で発信する情報を受信し、その情報を無線 LAN 経由でインターネットに発信するためのゲートウェイサービスです。</p> <p>発信された情報はアプリックスのクラウドにシームレスに集められ、ユーザーはその情報をいつでもダウンロードして活用できます。</p> <p>専用サイト:https://www.beabridge.io/</p>

※1. 低消費電力を大きな特長とする近距離無線通信技術

※2. 2016年7月20日付プレスリリース「Bluetooth Low Energy モジュールの累計出荷台数が 30 万台突破～ IoT 製品の量産化に向けた出荷が加速～」参照

※3. 2017年7月18日付プレスリリース「Bluetooth Low Energy (BLE) モジュールの累計出荷台数が 42 万台突破～ 当社 BLE モジュール搭載製品の発売などにより出荷が加速～」参照

以上

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<https://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<https://business.aplix.co.jp/>

Facebook公式ページ:<https://www.facebook.com/AplixCorporation.official/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<https://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。